

JAXA 宇宙飛行士
若田光一 4度目の宇宙へ!

ミッション概要

国際宇宙ステーション（ISS）の第38次/第39次長期滞在クルーとして、2013年11月にロシアのソユーズ宇宙船に搭乗し、カザフスタン共和国バイコヌール宇宙基地からISSに向かいます。このソユーズ宇宙船には、リック・マストラッキオ宇宙飛行士（アメリカ）、ミハイル・チューリン宇宙飛行士（ロシア）も搭乗します。

ISSには約半年の間長期滞在し、様々な宇宙実験や機器のメンテナンス等を担当します。今回の長期滞在の後半は、日本人初のISS船長（コマンダー）を務め、2014年5月にソユーズ宇宙船でISSを離れ、カザフスタン共和国に帰還する予定です。



コマンダーを務める第39次ISS長期滞在クルー▶

若田宇宙飛行士の役割

●ISS/「きぼう」のシステム運用

ロボットアーム操作による宇宙船のISSへのドッキング作業、ISSに設置されている機器のメンテナンス、交換作業を行う予定です。



ISSロボットアームの操作

●ISSコマンダー（船長）業務（2014年3月～）

若田宇宙飛行士は、2014年3月に日本人として初めてISSコマンダー（船長）に就任し、米露5人のクルーの指揮・統括を行います。

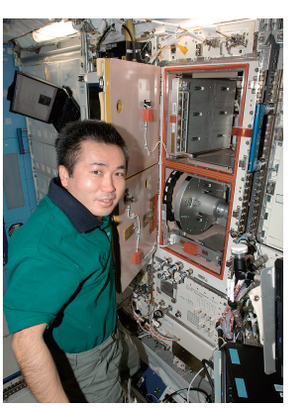
コマンダーの任務は、ISS長期滞在搭乗員全員の安全を確保し、ミッションを確実に達成することです。

アジア人初のISSコマンダーとして、若田宇宙飛行士が就任することは、「きぼう」や「こうのとり」の着実な運用を通して、日本がISS計画における信頼感のある重要なパートナーとなった証です。

●ISSでの宇宙実験

「きぼう」日本実験棟の船内実験室で、ライフサイエンス・宇宙医学、材料実験を行うとともに、創薬に重要なタンパク質構造データ取得、民生の高精細カメラ等による科学観測、地球観測、超小型衛星の放出作業などを行う予定です。

また、JAXAの実験だけでなくNASA、ESA（欧州宇宙機関）など国際パートナーの実験も行う予定です。



「きぼう」の細胞培養装置を使った実験



無重力下で筋力を維持するための運動

プロフィール

1963年		埼玉県生まれ。
1992年	4月	宇宙飛行士候補者に選ばれる。
同年	8月	米国航空宇宙局（NASA）の宇宙飛行士養成クラス（第14期生）に参加。
1993年	8月	日本人で初めてミッションスペシャリスト（MS）に任命される。
1996年	1月	STS-72ミッションに日本人初のMSとしてスペースシャトルに搭乗しロボットアーム操作を担当。
2000年	10月	STS-92ミッションに搭乗。日本人で初めて国際宇宙ステーション（ISS）建設に参加し、ロボットアーム操作を担当。
2000年	12月	NASAロボティクス教官宇宙飛行士に認定される（日本人初）。
2006年	7月	「宇宙飛行のリハーサル」と言われる海底での訓練、NASA極限環境運用（NEEMO）でコマンダーの役割を任される。
2009年	3月～7月	第18次/第19次/第20次ISS長期滞在クルーとして日本人初のISS長期滞在。
2010年	3月	NASA宇宙飛行士室ISS運用ブランチのチーフ就任。日本人初のNASA管理職。
2011年	2月	第38次/第39次長期滞在クルー（第39次ではコマンダー）に任命される。

若田宇宙飛行士を応援しよう!



●JAXAライブ中継

JAXAでは、若田宇宙飛行士の打上げライブ中継を予定しています。詳細はJAXAホームページでお知らせします。

http://www.jaxa.jp/

●若田宇宙飛行士Twitter

https://twitter.com/Astro_Wakata

●宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

http://iss.jaxa.jp/

JAXA 宇宙航空研究開発機構

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています